

# 平成 28 年度 支え合いをひろげる 住民主体の生活支援フォーラム 開催要綱

## 1. 趣旨

新しい地域支援事業を契機に、高齢者のニーズに応えるとともに住民同士のいきいきとしたつながりのある地域をつくるには、住民主体の生活支援をいかに広げていくかが重要なカギになります。

生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置により、住民や福祉関係者等の中で地域課題の共有、必要となる活動やサービスの検討が始まっていますが、新たな活動等の本格的な創出・拡充には至っていない地域も見られます。その一因には、具体的な活動・サービスの立ち上げ方や運営、団体のマネジメントのノウハウ等が共有できていない状況があるのではないのでしょうか。

そこで本フォーラムでは、住民主体の生活支援の意義や特徴を改めて確認するとともに、豊富な知識・経験を有する各サービスの全国団体のサポートにより、活動・サービスの立ち上げや運営の支援に役立つ情報、地域支援事業の活用などを学びます。

2. 主催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
3. 共催 住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会  
一般社団法人 全国老人給食協力会  
特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク
4. 期 日 平成 28 年 10 月 20 日 (木)
5. 対 象 ○生活支援コーディネーター (地域支え合い推進員)  
○行政・自治体関係者  
○助け合い活動、生活支援サービスを行う NPO、ボランティア団体、住民参加による生活支援サービスや助け合い活動を推進している関係団体  
○生協、農協、社会福祉協議会等関係者 等
6. 会 場 全国社会福祉協議会 灘尾ホール、5 階会議室  
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル LB 階
7. 定 員 300 名 ※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
8. 参加費 <20 日 (生活支援フォーラム) のみ参加の場合>  
3,000 円  
<生活支援コーディネーター研究協議会(19 日)から引き続き参加の場合>  
2,000 円 ※19 日と併せて参加費 計 5,000 円になります。
9. 申込期限 平成 28 年 10 月 3 日 (月) [定員になり次第、締切とさせていただきます]

## 10. プログラム

9:30	開会
9:40～11:00 (80分)	<p><b>【オープニングセッション】</b>  <b>「住民主体の生活支援を広げるために何が必要か」</b></p> <p>新しい地域支援事業を契機に、多様な生活支援の拡充が期待されていますが、ガイドラインに示された「サービス B」の広がりはまだ少なく、住民主体の生活支援の創出には、今後、時間をかけた粘り強い取り組みが求められます。オープニングセッションでは、住民主体の生活支援の必要性を再確認すると同時に、これらを広げていくために地域支援事業をいかに活用するか、また、行政や生活支援コーディネーター、協議体にはどのような視点や役割が求められるかについて共有します。</p> <p>登壇者/住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会  副代表幹事 成瀬 和子氏  全国老人給食協力会 専務理事 平野 覚治氏  全国移動サービスネットワーク 副理事長 横山 和廣氏  コーディネーター/全国社会福祉協議会 地域福祉部</p>
11:00～11:20	休憩・移動
11:20～15:00 ※途中、昼食休憩有	<p><b>【分科会】</b>  <b>「住民主体の生活支援をはじめよう！」</b>  <b>～立ち上げから継続的な運営まで」</b></p> <p>「地域のニーズが見えてきて、活動を始めたいけれど本当に住民の力ができる？」 「既に実践している団体の経験やノウハウを聞きたい！」 こうした不安や疑問に応え、具体的な立ち上げ、運営に役立つ情報、今後の活動のヒント、先輩団体の実践例等を学びます。</p> <p><b>第1分科会 お互い様を地域の仕組みにする（訪問型サービス）</b></p> <p>日常生活のちょっとした手伝いから在宅での看取りの支援まで。住民同士のお互い様をベースにした訪問型サービスの基本的な仕組みや仲間集めのヒント、運営ノウハウなどを実践事例を交えながら紹介します。</p> <p>コーディネーター/住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会  副代表幹事 熊谷 美和子氏  コメンテーター/代表幹事 矢澤 久子氏  実践報告/調整中</p>

## 第2分科会 食を通して地域のつながりをつくる（食事サービス）

地域には、「食べること」に関するニーズを持つ住民が多くいます。「食」は、栄養補給だけでなく、美味しいものを食べる楽しみや人間関係、地域文化に関わる多面的な営みであり、子どもから障害者、高齢者まで多くの人が担い手として参加しやすい活動でもあります。分科会では、近年とくに広がりを見せている会食タイプの活動なども紹介し、食事サービスの立ち上げや運営のポイントを学びます。

コーディネーター/全国老人給食協力会

専務理事 平野 覚治氏

実践報告/

NPO法人ゆめみ〜る 副理事長 山田 正幸氏

北海道・登別市内の特に高齢化がすすむ地域の町内会有志で立ち上げたNPO。閉店したコンビニを改築した拠点で、地域食堂を運営し配食サービスを行っているほか、「朝市」やサロンも開催し、地域に住む多世代の人々が関わる共生型の地域拠点となっています。

NPO明舞ひまわり 代表 入江 一恵氏

昭和30年代から大規模開発された兵庫・明舞団地の団地再生モデル事業をきっかけに設立。「ふれあいお食事処」「配食サービスと見守り」のほか、食と健康の情報発信基地として地域団体や行政と協働した団地活性化イベントを実施しています。

## 第3分科会 移動のサポートで広がる社会参加（移動・外出支援）

高齢者の通院や買い物の移動手段が不足している地域が増えています。地域でいきいきと暮らし続けるために、移動・外出支援はなくてはならない活動です。

一方で、車両や担い手の確保、法令への対応などが立ち上げのハードルになっています。

分科会では、実践事例から移動・外出支援を学ぶとともに、中間支援団体から直接アドバイスを受けることができます。

コーディネーター/全国移動サービスネットワーク

副理事長 河崎 民子氏

実践報告/社会福祉法人 一廣会 金井原苑 苑長 依田 明子氏

小地域ネットワークをテーマとした川崎市麻生区の協働事業から「人とサロンをつなぐ移送推進協議会」が発足。更に地域のサロンに送迎を行う「あさお運転ボランティアCAP」が生まれました。金井原苑は協議会事務局から車両提供、運転者研修も担っています。

**11. 申込方法** ○別添の参加申込書により、名鉄観光サービス(株)新霞が関支店宛にお申し込みください。折り返し同社より参加券および参加費の振込依頼書等をお届けいたします。

○参加費等のお支払いは、期日までにお済ませください。

○当日は、参加券をご持参ください。

## 12. 個人情報の取り扱い

本フォーラムにつきましては、個人情報保護における取扱契約を「名鉄観光サービス(株)新霞が関支店」と交わしたうえで、同社に上記の業務を委託しております。「参加申込書」に記載された個人情報は、運営管理の目的にのみ利用させていただきます。なお、本フォーラムの資料に参加者の氏名・所属・役職を掲載いたします。

## <フォーラム内容の問い合わせ先>

全国社会福祉協議会地域福祉部（担当：水谷、金谷内）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL. 03-3581-4655 FAX. 03-3581-7858

※参加等の申込・参加券の送付・参加費の支払い等については、「参加申込書」をご覧ください。

## 会場のご案内

**全国社会福祉協議会・灘尾ホール**

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビルLB階



・地下鉄 銀座線「虎ノ門駅」5番出口より徒歩5分

・地下鉄 千代田線／丸の内線／日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分

・地下鉄 千代田線／丸の内線「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩5分